

「いきいきと生きていくために」歯・口の健康づくりからはじめよう

大阪府大阪市立宮原小学校

21学級 564名

1. 研究や目標やねらい

(1) 研究テーマ

淀川区の研究主題

「いきいきと生きていくために」一歯・口の健康づくりからはじめよう

(2) 学校での研究活動の目標

健康な体づくりにつとめる

2. 実施した主な活動

(1) 拡大健康三部会代表者会

淀川区学校保健協議会を基盤に、幼稚園・小学校・中学校の保健関係教職員（校園長部・保健主事部・養護教職員部・保健主任部）に栄養教職員を加えた組織を「拡大健康三部会」と名付けた。そして、それぞれの代表者が研究を推進していく役割を担い、研究経過を話し合う場として「拡大健康三部会代表者会」を実施し研究を進めた。

(2) 研究に向けての研修会

- ① 歯科衛生士による講演・学習会（拡大健康三部会参加）
- ② 学校保健委員会の見学研修会（小学校の学校保健委員会を初めて幼稚園、中学校からも見学）
- ③ 親子歯みがき教室の見学研修会（ライオン歯科衛生研究所）
- ④ 歯科衛生士専門学校・歯科技工士専門学校の見学研修会



歯科衛生士専門学校・歯科技工士学校の見学研修

- ⑤ 学校歯科医による学習会
 - ⑥ 保健指導の授業研究会
大阪市小学校教育研究会保健部の研究領域「基本的な生活習慣」のグループの授業研究を、平成21・22年度ともに、淀川区の養護教員が「歯と口の健康」を主題にして実施した。
 - ⑦ 食育展の見学研修
 - ⑧ 研修会の伝達講習（全国学校保健大会・生活習慣予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業連絡協議会に参加）
歯・口の健康についてのアンケート調査実施
- ### (3) 幼稚園の取り組み

- ① 昼食後の歯みがき
- ② 食育（親子野菜栽培・食べ物の絵本）
- ③ 家庭との連携（5歳児親子歯みがき指導・歯科園医、歯科衛生士による歯みがき指導・行事の中で）



昼食後の歯みがき・淀川区民まつりでの『歯ブラシマン』ダンス

(4) 小学校の取り組み

- ① 保健指導（学級活動における歯の保健指導・測定時における保健指導）
- ② 児童の活動（集会での啓発活動・強調週間での啓発活動・委員会の日常活動・学校保健委員会）
- ③ 連携と協力（学校歯科医との連携・家庭地域との連携・学校間、栄養教職員との連携）



集会での啓発活動・強調週間での啓発活動

(5) 中学校の取り組み

- ① 生徒の保健委員会による文化発表会における展示発表（歯・口の健康ポスター・アンケート調査、集計・歯科健診結果まとめ・歯周病、歯肉炎の調べ学習・歯のブラッシング体験など）
- ② 歯と口の健康教室（歯科校医と歯科衛生士による講話と歯みがき指導）

(6) 栄養教職員の取り組み

- ① 学級活動における食に関する指導（骨や歯をじょうぶにしよう・かむことの大切さを知ろう）
- ② 給食献立咀嚼回数調査
- ③ PTA 給食試食会（よくかんで健康な体をつくろう）
- ④ 淀川区食育展
- ⑤ 児童・保護者向け配布資料（歯と口の健康に関する内容）

3. 成果と課題

歯・口の健康について繰り返し指導を行ったことで、園児・児童・生徒がその大切さに気付き、積極的に歯みがきをするようになった。また、栄養教職員、幼稚園・小学校・中学校、学校歯科医・保護者との連携が図れた。今後も、習慣化、意識化の強化と繰り返し継続的な指導が必要である。